

2022年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社東急レクリエーション
 代表者名 代表取締役社長 菅 野 信 三
 (コード番号 9631 東証スタンダード市場)
 問合せ先 執行役員財務部長 相 澤 巧 一
 (TEL 03-3462-8870)

営業外収益、特別損失の計上、連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は2022年12月期第1四半期連結累計期間におきまして、下記の通り営業外収益、特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。また、2022年2月8日に公表いたしました「2021年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において開示いたしました2022年12月期連結業績予想および配当予想につきまして、下記の通り修正することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

1. 営業外収益の計上について

2022年12月期第1四半期において、新型コロナウイルス感染症に係る大規模施設等に対する協力金等の収入を「補助金収入」として営業外収益に382百万円を計上いたしました。

2. 特別損失の計上について

2022年3月16日に発生しました福島県沖を震源とする地震により、「109シネマズ富谷」(宮城県富谷市)において臨時休業を行っております。この地震により「109シネマズ富谷」をはじめとする店舗で被害が発生したことから、2022年12月期第1四半期において、被災した店舗の復旧工事費用等162百万円を「災害による損失」として特別損失に計上いたしました。

3. 連結業績予想および配当予想の修正について

(1) 2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想(2022年1月1日~2022年6月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	14,101	330	265	27	4.37
今回修正予想(B)	12,475	4	317	△90	△14.22
増減額(B) - (A)	△1,626	△325	52	△118	-
増減率(%)	△11.5	△98.6	19.6	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	10,201	△638	△655	△456	△71.51

(2) 2022年12月期通期(累計)連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	28,233	886	753	338	53.10
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B)-(A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	22,376	△691	△349	△638	△100.00

(3) 2022年12月期配当予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年2月8日発表)	15円00銭	15円00銭	30円00銭
今回修正予想	未定	未定	未定
当期実績	—	—	—
前期実績 (2021年12月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

4. 修正の理由

2022年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かい、売上高が回復することを見込んでおりました。しかしながら、年初より東京都をはじめ複数の都道府県にてまん延防止等重点措置の適用およびその延長等の影響を受け、第1四半期においては非常に厳しい状況で推移いたしました。その結果、第2四半期では、売上高、営業利益が2022年2月8日に公表いたしました連結業績予想の数値を下回る見通しとなりました。また、「1. 営業外収益の計上について」記載の補助金収入により、経常利益は予想を上回る見込みであるものの、「2. 特別損失の計上について」記載の災害による損失等を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益においても予想を下回る見通しとなりました。以上の理由から、第2四半期の連結業績予想を修正いたします。

また、2022年12月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が遅れていること、世界的な資源価格および原材料価格の高騰など先行きが極めて不透明な状況が続いていることから、現段階で連結業績予想数値を合理的に見積もることが困難であるため、2022年2月8日に公表いたしました2022年12月期通期の連結業績予想を一旦取り下げ「未定」とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能となりました段階で速やかに公表させていただきます。

なお、配当予想につきましては、今後、業績動向を見極めつつ検討することとしており、第2四半期、期末ともに「未定」とさせていただきます。

株主、投資家の皆様をはじめ関係者の皆様にはご迷惑とご心配をお掛けいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等はさまざまな要因によって異なる可能性があります。

以 上